

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築計画 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	『初学者の建築講座 建築計画』（市ヶ谷出版社）、『コンパクト設計資料集成』（丸善）／配布資料						
担当教員情報							
担当教員	小林 郁夫			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的							
建築物を作り上げるプロセスには様々な職能が関わり、様々な意思決定がなされていく。発注者から設計者へ、さらには設計者から施工者へ移っていく。つまり全プロセスの初めから最後まで設計者が中心的な役割を果たすことが多い。そこでこの科目は、学生が企画設計・基本設計で重要となる建築計画の基礎知識を学び、実施設計まで昇華することが目的である。建築物は用途により、または建物の使われ方により諸室が果たす機能が違ってくる。そこを充分理解しながら、設計製図の科目並びに、2級建築士程度の知識を学ぶのが目的である。							
到達目標							
この科目では、公共建築物の実例を紹介しながら歴史の変遷や有名建築を学び、学生が、建築に興味を持ってもらうことを第一目標としている。公共性のある建築物を学ぶ導入部として、今まで学生が利用したことのある幼稚園・保育園から始まり地域のコミュニティセンター、図書館などを段階を追って学習する。身近な建物から理解していくことで、理解度が高まり、知識が身に付くことが狙いである。また、設計上必要となる諸室の名称、機能、面積などの基礎知識を、身に付けてもらうことを目標としている。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、考える力を育てるためにアクティブラーニングを採り入れる。ひとつしか解のない数学と違って、建築は施主・設計者によって解が変わる。そこで、他人と意見交換し情報を共有しながら、解を導き出すまでの過程を学んでいく。考えることを意識し能動的な学習を通じて、学生の「積極性・協調性」を育成する。						
注意点	・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・教室を綺麗に整理整頓し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。						
評価方法		割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験を総合的に評価する				
	小テスト	25%	授業内容の理解度を確認するために実施する（レポートを含む）				
	レポート	0%					
	成果発表表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	25%	授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス 幼稚園・保育園			幼稚園の変遷、計画、実例建築			
2回	小学校			小中学校の変遷、計画、実例建築			
3回	小学校			計画、実例建築、小テスト			
4回	中学校			小中学校の変遷、計画、実例建築			
5回	中学校			計画、実例建築、小テスト			
6回	コミュニティセンター・公民館			コミュニティセンターの計画、実例建築、小テスト			
7回	造形の美			「綺麗」より「美しさ」			
8回	中間試験その他			世界の建築 紹介			
9回	図書館			図書館の変遷、計画、実例建築			
10回	図書館			計画、実例建築、小テスト			
11回	美術館			美術館の変遷、計画、実例建築			
12回	美術館			計画、実例建築、小テスト			
13回	外部空間の把握			建築と外部空間の関わり			
14回	外部空間の計画手法			街並み、都市空間			
15回	その他			実例建築の紹介 まとめ			